

安全が『未来の現場』を実現する。

即戦力で
役立つ機械

今回の現場は宮城県の気仙沼湾に面した片浜地区の災害復旧工事。施工を担当するのは、気仙沼市に拠点を置く（株）内海工業様。「ICT建機を導入したきっかけは、現場責任者である西松さんの品質向上への意欲です。」と担当営業は教えてくれた。現場責任者の西松英男さんに導入の経緯を聞いた。「依頼主が望んでいる以上の満足を提供したいと常に意識していました。担当営業よりスマートコンストラクションの話を聞きICT建機の作業効率を活かした仕事が出来ないと興味湧き、導入を決断しました。」と話した。代表取締役社長の内海誠さんにも聞いた。「ICT建機はオペレータの実務経験とは関係なく、建機に乗りこなすアシストをしてくれるんだね。現場の即戦力になり役に立つ機械だ。」と話した。



代表取締役社長 内海誠さん(左)
現場責任者 西松英男さん(右)



若築建設（株）
作業所長 桃田康二郎さん

宮城県
（株）内海工業様

理念「品質」「値段」「納期」
すべてにおいて、わが社にしか提供できないという商品を開拓する心構えで経営
を行い、
「出来ると思えば何でもできる」
企業として今回導入した。

掲載月:2016年12月

ICT建機で
「未来の現場」を実現

この現場は若築建設（株）様・あおみ建設（株）様・（株）吉田組様のJV（共同企業体）が受注したそうだ。作業所長の若築建設（株）桃田康二郎さんに話を聞いた。「ICT建機を導入したことで測量や丁張設置作業、そして現場管理者の手間と労力が減った。」と教えてくれた。現場責任者の西松さんは「初めは難しく感じたが、実際に使うととても便利な機械でした。全体的に考えても導入して間違いではなかったと感じている。導入しなければ時間は短縮されずに、建機の周りの作業員の安全にも不安があったかもしれない。」と話した。「現場は危険を伴うことが多いので、これからの現場は、何よりも安全な現場でなければならないと考えている。ICT建機が安全な現場、『未来の現場』を実現させたいと思う。」とも話した。

